

第1回 総合福祉計画策定委員会高齢者福祉部会 会議録

令和5年4月27日(木) 13:30~14:10

箕輪町役場 2階 202号室

(進行:丸山高齢者あんしん係長)

1 開会

2 福祉課あいさつ

【土岐高齢者あんしん係長】

高齢者の施策について検討していただきたい。

2040年には町の65歳以上の方が4割になると見込まれる。

地域で暮らしていけるような支えあえる仕組みを作る。

これまでの3年間の評価と、これからの3年間の施策の検討をお願いしたい。

3 委員自己紹介

番号順に自己紹介。その後、事務局自己紹介。

4 計画の概要と策定委員の役割について

① 計画の位置づけと策定委員の役割 資料1

② 検討スケジュール 資料2

③ 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(高齢者あんしん係・介護保険係)

高齢者あんしん係長、介護保険係長が資料に基づいて説明。

資料3

5 策定委員会正副部会長選出

立候補無し。部会長については事務局腹案提示。

副部会長について「事務局で決めて」の声上がり事務局で指名。

部会長 東 孝雄 さん 副部会長 水田 道子 さん

部会長あいさつ…皆さんのお力をお借りして計画策定を行っていきたい。

高齢者を取り巻く状況は深刻だが、明るい高齢者あんしん係長の元、

取り組んでいけると思う。副部会長とともに頑張りたい。

副部会長あいさつ…部会長とともに頑張りたい。

6 委員意見交換

小嶋区長…区民に草刈り等の作業をお願いしているが、常会によっては高齢者が多いため、負担が大きく区や常会を抜きたいという声も出ている。そうなると区の財政も厳しくなり、そういった作業の委託も難しくなる。

実態は、地域の支え合いも難しく、希薄な関係になってきており、自己中心的な人が増えている。

社協・星野…出てくる役員も高齢者。ボランティア団体も高齢化している。コロナで活動が出来なくなった数年間でサポーター等も高齢化した。

住みやすい地域づくりが必要。若い現役世代を巻き込むことが大事なのでは。

小嶋区長…子育てサークルのお母さんたちを巻き込んで明るい公民館の会議室づくりを計画している。意外とボランティア活動に対して興味があるのではないかと感じている。

市川先生…世の中が多様性になっている。自分を主張している。意識改革が必要。

若い世代がいない地域は活気が無い。若い人が住みたいと思う地域にする必要がある。そのためには企業誘致などが必要。

伊那市は移住者が多い。南箕輪村は若い世代が多い。他市町村を参考にしてみようか。

診療していて感じるのは、患者も高齢化している。運転免許の返納で足が必要になっている。気楽に受診できるような交通を考える必要がある。

7 その他

次回については、これまでの3年間の評価などがあるので事前に資料を配布したい。

日程は改めて調整する。

8 閉会

○次回開催予定

策定委員会 : 令和5年7月予定

予定される議事 前期計画の評価／次期計画に関する検討／